

津麦ニュース 平成28年産 第3報

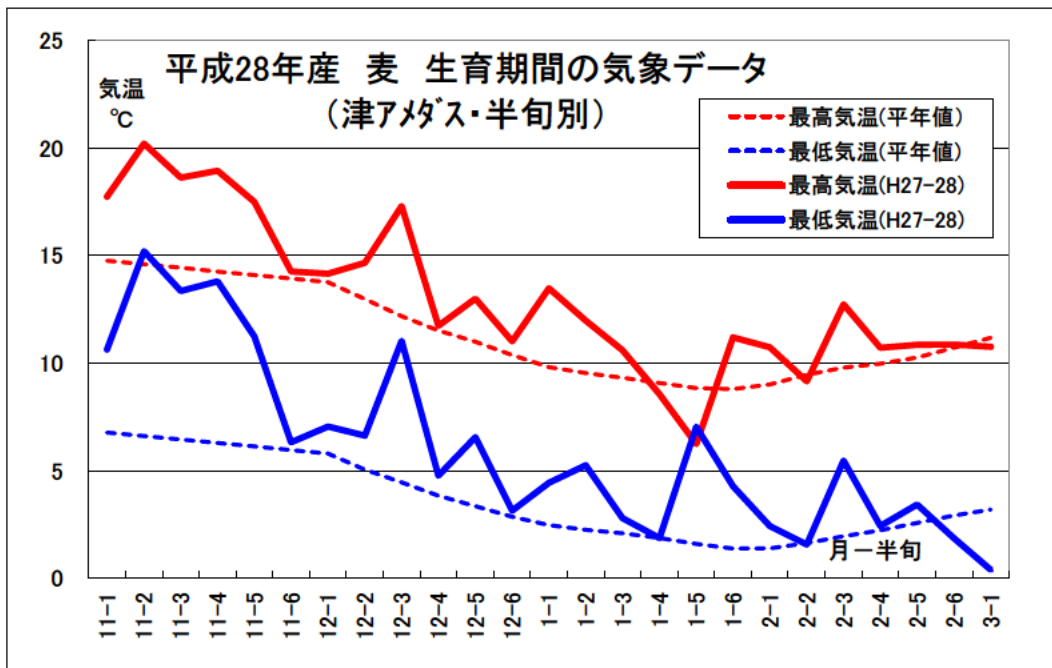
平成28年3月4日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

麦の生育は早くなっています。
各ほ場の生育状況をよく観察し、適切な管理を行いましょ

<気象経過>

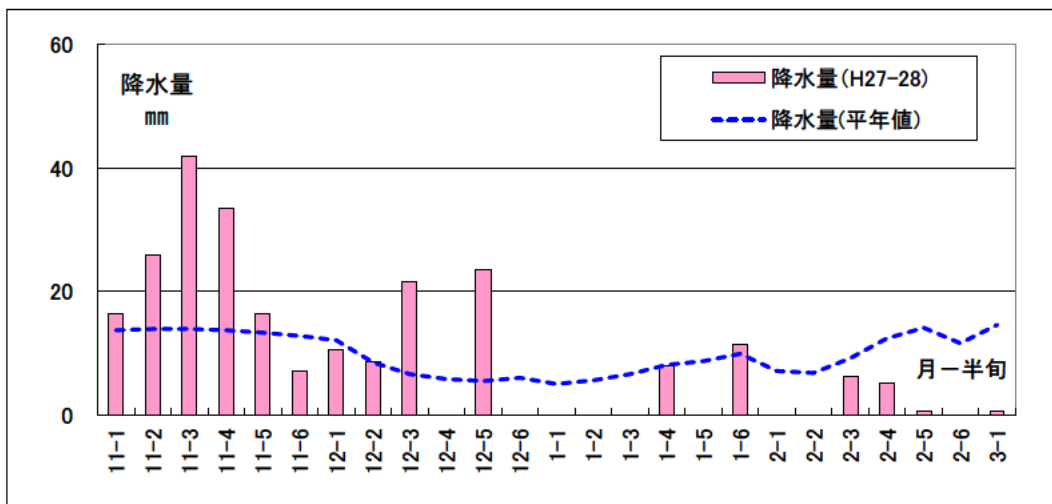
○気温

11月以降高温傾向が続いています。1月下旬及び2月下旬に一時的に気温が下がりました。



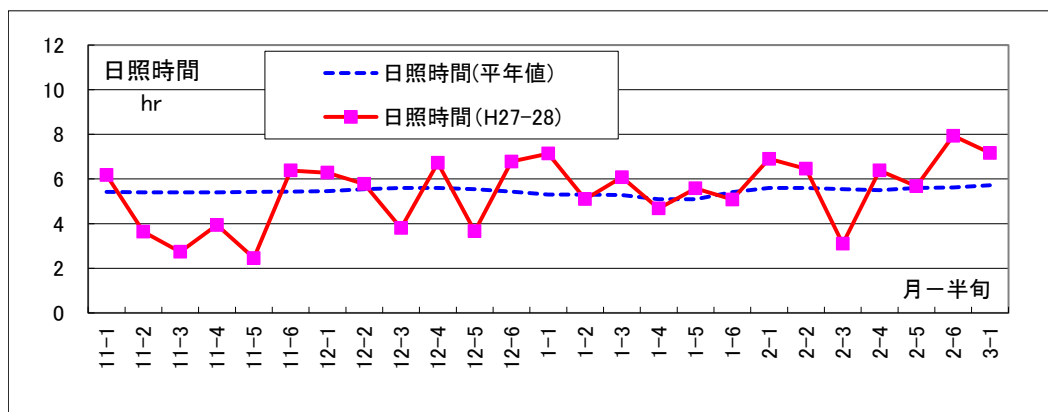
○降水量

11月は雨の日が多く、11月の降水量は平年よりかなり多くなっています(平年比180%)。12月は1度に降る雨の量が多く、降水量は平年比144%となっています。1月に入ってから晴天が続く、降水量は少なくなっています。



○日照時間

日照時間は11月に雨が続いた影響で、平年より少なくなりました(平年比79%)。12月以降は平年並みとなっています。



<麦の状況>

○生育状況

1月下旬の寒波により、一時的に生育の進展は緩慢になったものの、暖冬の影響で、生育は平年より非常に早くなっています。

生育基準ほの調査結果を前年同時期と比較すると、草丈は前年より長く、葉齢の展開も進んでいます。葉色は薄い傾向です。これは、高温傾向の影響により、肥料の溶出が進んだためと思われます。

○平成28年産(平成27年播)小麦生育基準ほの生育状況(平成28年2月15日現在)

地区	品種	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
津 向井	ニシノカオリ	11月11日	34.6	770	7.5	39.9
安濃町 田端上野	さとのそら	11月7日	21.4	1092	7.3	41.0
久居 稲葉	あやひかり	10月28日	27.1	400	8.1	36.7
白山町 川口	あやひかり	11月4日	34.4	871	8.3	42.8

【参考】平成27年産(平成26年播)小麦生育基準ほの生育状況(平成27年2月16日)

地区	品種	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
津 向井	ニシノカオリ	11月16日	18	903	5.2	39.8
芸濃町 椋本	さとのそら	11月10日	18.4	851	6.6	41.2
久居 稲葉	あやひかり	11月4日	18.2	621	6.2	43.2
白山町 川口	ニシノカオリ	11月14日	16.2	533	5.8	38.9

○病虫害発生状況

現在のところ、特に病害や、虫害は観察されていません。

<今後の対策>

○播種が早く、生育が進んでいる場合(11月上旬播き)

1回目の穂肥(幼穂形成期)から2回目の穂肥(止葉抽出期)までの期間が長くなるため、肥料切れに注意がひつようです。現在、止葉抽出期に近づいてきています。穂肥は3kg/10a(チツソ成分)を目安に施用しましょう。

○11月下旬以降播き

播種時期が遅いと、麦の生育期間は短くなり、肥料の利用率は高まります。

1回目の穂肥を、幼穂形成期に2~3kg/10a(チツソ成分)を目安に施用しましょう。

2回目の穂肥は、止葉抽出期にやや少なめの1~2kg/10a(チツソ成分)を施用しましょう。

○肥効調節型肥料

緩効性成分の溶出が例年より早いため、今後、肥料切れに注意が必要です。

止葉抽出期に、生育が過剰でなければ、1~2kg/10a(チツソ成分)を目安に追肥しましょう。

○小麦の生育予測(平成28年3月3日)

品種	播種日	幼穂形成期	止め葉抽出期	出穂期 (平年との差)
あやひかり	11月5日	2月2日	3月20日	4月6日 (3.4日早い)
	11月25日	2月25日	4月1日	4月17日 (1.7日早い)
ニシノカオリ	11月5日	1月15日	3月5日	3月25日 (10.9日早い)
	11月25日	2月21日	3月30日	4月18日 (3.2日早い)

※三重県農業研究所が作成した麦生育予測システムVer.9.2による予測

※気象庁アメダス津観測地点(平均は直近10ヵ年)を使用

○赤かび病防除

今年は、平年より出穂期・開花期ともに早まることが予想されます。早めの準備を行い、麦の生育状況に注意して、開花始期~開花盛期の適期を逃さないように防除しましょう。
